

その他 ご意見・感想など（勉強会終了後のアンケートなどの抜粋）

勉強会を終えての感想

- ・高砂地区には、避難場所が少ないことを再確認した。
- ・自分の住んでいる街は災害危険度が高く、対策も十分ではないことを改めて思い知らされた。
- ・能登半島地震後の勉強会だったので、置き換えて考える事ができた。
- ・地震対策については、地域全体での防災まちづくりを推進しないと根本的な改善に至らないと思う。
- ・防災に強いまちづくりと地区内の開発が同時に進められるようにしてほしい。

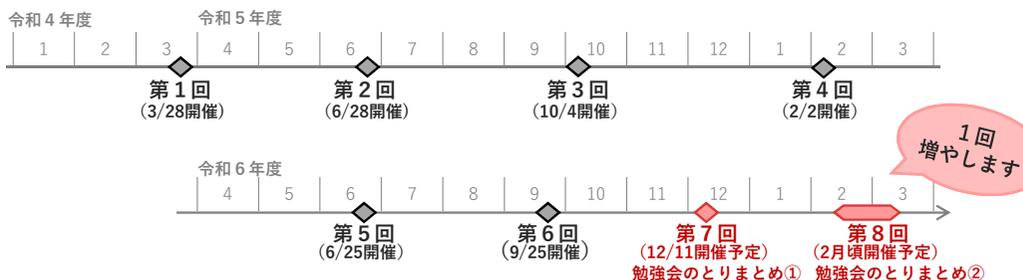
その他のご意見・ご要望など

- ・全員が平等に発言できるように、ファシリテーターが積極的に舵をとって欲しい。
- ・計画実施に向けて予算や時間的制約を踏まえ、具現化できるまちづくりを、話し合っていきたい。
- ・勉強会の着地点（ゴール）が、どこになるのか分かりにくい。
- ・高砂在住者のための勉強会と、その他の方が参加できる勉強会を分けて実施して欲しい。

↑いただいたご意見を踏まえて、次回以降の勉強会に活かしていきます。

今後の進め方について

この勉強会には、非常に多くの方に参加していただき、貴重なご意見をいただいていることから、開催回数を1回増やし、丁寧にとりまとめていくことにしました。

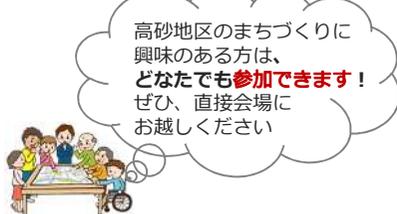


次回（第7回）の勉強会について

テーマ：～まちづくり勉強会の振り返り・とりまとめの方向性～

- ・勉強会のとりまとめの方向性
 - ・基盤整備以外（エリアマネジメントなど）の取組
- 他地区の事例を交えて勉強します。

日程：令和6年12月11日（水）19時から
 場所：高砂地区センター 3階ホール



発行元：高砂地区開発協議会 会長 関根芳夫

協力：葛飾区 都市計画課 高砂地域整備担当係 黒崎、まつもと、すずき

<連絡先> 電話：03-5654-8344（直通） FAX：03-3697-1660
 H P：「高砂地区開発協議会について」



<HPはこちら>

高砂地区

まちづくり勉強会ニュース

第6号
 令和6年11月

令和6年9月に第6回の勉強会を開催しましたので、その内容をお伝えします。
 なお、この会は、高砂地区開発協議会主催の勉強会となります。

第6回 高砂地区まちづくり勉強会

日時：令和6年9月25日（水）
 場所：高砂地区センター 3階ホール
 参加者：勉強会会員 23名（自治町会及び商店街からの推薦者及び一般公募者）
 会員以外 7名（当日の自由参加者） 合計 30名
 内容：『防災まちづくり（地震・水害）』をテーマに開催



【第6回勉強会の様子】

前半は高砂地区の防災に関する現状や課題を共有し、事例を参考に防災まちづくりの勉強をしたうえで、後半は高砂地区での具体的な取組についてワークショップで議論しました。

高砂地区の防災に関する現状・課題について

現状・課題

出典：高砂駅周辺地区まちづくりガイドプラン等

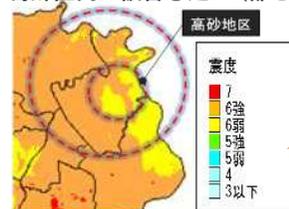
- 地震**
 - ・幅員6m以上の道路が少なく、消防活動困難区域があり、緊急車両の通行や円滑な消火・救援活動に支障がある。
 - ・幅員4m未満の細街路が多く、円滑な避難が困難なため、避難路の確保など防災まちづくりの必要性がある。
 - ・高砂駅周辺地区の不燃化が十分に進んでいないため、災害時に延焼火災の危険性がある。
 - ・高砂地区には地域危険度が高い地区がある。
- 水害**
 - ・中川・新中川と江戸川に挟まれた低地帯である。
 - ・河川氾濫による長期間の浸水が危惧されるなど、大規模水害への対応が求められる。
 - ・水害時に逃げ込める場所が必要である。



地震による被害想定

※東京都による一定の条件を設定したシミュレーションの結果

葛飾区内の被害想定※（都心南部直下地震）



区内の震度は6弱～6強が想定される

区内で多くの建物・人的被害が想定される

想定地震	令和4年公表
建物被害	全壊棟数 4,589棟
火災被害	焼失棟数 5,137棟
人的被害	死者数 283人
	負傷者数 3,439人

出典：葛飾区在宅避難ガイド（地震版）

水害による被害想定

※大雨により河川が氾濫した場合の浸水が想定される範囲や深さ

水害ハザードマップ※（江戸川・1000年に一度の規模の大雨）



出典：高砂地区防災マップ

ワークショップ 高砂地区の防災まちづくり（地震・水害）について《第6回勉強会の意見からの抜粋》

当日のワークショップでは、他地区の事例も参考に、高砂地区の防災まちづくりとして、主に**基盤整備**（道路、公園など）の具体的な**取組方針**について意見交換を行い、発表を行いました。
※当日の意見（付箋コメントなど）を可能な限りそのまま記載していますが、一部読みやすいように修正しました。



地震

【事例① 四ツ木駅周辺地区】

防災上の多くの課題を抱えた地区において、**道路や公園などの基盤整備**や**細街路の解消**、**建築物の不燃化**などにより、**防災性の向上と住環境の改善**を図る。

基盤整備（街路事業）

- ・四ツ木駅前の交通広場整備やバス通りの拡幅
- ・連続立体交差事業（鉄道側道の整備）

防災まちづくり

- ・不燃化特区の指定・地区計画によるルール
- ・密集住宅市街地整備促進事業の導入

不燃化
特区

密集住宅
市街地整備
促進事業

地区計画



【事例② 浦安市堀江・猫実地区※】

狭い道路がほとんどで**防災面の不安**がある地区において、**土地区画整理事業**により**主要生活道路や区画道路、公園**などを整備し、**安全・安心なまちづくりの実現**を図る。

※当地区は、国が公表している「地震時等に著しく危険な密集市街地」として指定されている。

- ・面的整備
- ・地区計画
- ・建替促進

事業計画図



出典：堀江・猫実B地区土地区画整理事業より作成

ワークショップでいただいた主な意見

道路について

- ・地区に**延焼遮断帯**になるような**広い道**を整備する
- ・緊急車両が入れるような**道路**を整備する
- ・行き止まり道路や細街路を**解消**する
- ・根本的な解決に向けて、**土地区画整理事業**など、**面的な整備**も検討すべきではないか

建物・施設について

- ・古い**木造建物**が多く、**建物の倒壊**や**火災の心配**があるので、**建替を進める**必要がある
- ・建物の**耐震化・不燃化**をより一層促進すべきである
- ・地区内には**高架の送電線**が通っており、**駅周辺や商店街の範囲**だけでも、**地中化**できないのか

避難について

- ・防災性の向上のため、**公園や広場**などをもっと作ってはどうか
- ・どこに逃げれば良いのか分からないので、**避難の方法や避難場所**をもっと周知すべきである

ルールについて

- ・地震に強いまちになるよう、**地区計画**を活用した**ルール**をつくるべきではないか

取組方針

防災インフラの整備

- ▶**幹線道路の整備**
- ▶**主要区画道路の整備**
- ▶**幅員4m未満の細街路解消**
- ▶**面的な基盤整備の検討**
- ▶**公園や広場などのオープンスペースの確保**



火災の延焼遮断

- ▶**道路拡幅や公園緑地**などの整備
- ▶**建物の耐震化・不燃化**の促進

ルールづくりと情報発信など

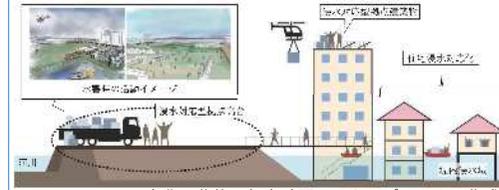
- ▶**地区計画**による**まちのルールづくり**
- ▶**防災に関する情報の周知徹底** など



水害

【事例① 浸水対応型市街地※】

※**広域避難**と**垂直避難**を組み合わせることで避難できる環境が整い、**水が引くまでの間**、**許容できる生活レベル**が担保される**市街地**のこと。



- ・水害時に**広域避難**が困難な場合に備えた**垂直避難**や**高台避難場所**を整備
- ・住民の**安全な避難場所**、一定の**生活機能の確保**、**救援・救助・輸送活動**

【事例② JR小岩駅周辺地区】

ゼロメートル地帯などにおける**水害リスク**を踏まえた、**高台まちづくり**を推進している。

- ・避難スペースを確保した**建築物の整備**・**確保**
- ・建物間を移動可能とする**通路の整備**



ワークショップでいただいた主な意見

避難について

- ・浸水時に避難できる**高い建物**を増やしてはどうか
- ・**マンション**や**大型店舗**などに**緊急避難場所**として、**協力**してもらえるようにしてはどうか
- ・**連続立体交差事業**に併せて**駅ビル**、**駅周辺**、**現車庫**などに**高い建物**を建て、**避難スペース**を確保する

公園・施設について

- ・**高砂北公園**を**防災公園**として**整備**すると良い
- ・公園の中に**高台**があると良い
- ・**高砂団地跡地**に**ヘリポート**を整備してはどうか
- ・**下水道施設の増強**や**地下雨水貯留施設**の設置
- ・**太陽光発電**を公共施設などに設置し、**停電時**に対応できるようにする（地震にも共通）
- ・**中川の堤防**をさらに**強化**してはどうか

ルールと情報発信について

- ・多くの**民間マンション**が**高台の避難所**として使用できるように**ルール**を充実させてはどうか
- ・**建物を新築**する際は、**1m程度**、**宅盤をかさ上げ**するような**ルール**をつくる
- ・**中川**などの**河川**の**水位情報**を**駅**、**公園**、**商業エリア**などで共有する**仕組みづくり**
- ・**水害時**にどこに**避難**すべきか分かるような**道**しるべが必要である

取組方針

垂直避難・高台避難

- ▶**拠点開発**などに合わせた**避難建物**、**避難スペース**の整備促進
- ▶**施設間をつなぐ立体通路**の整備
- ▶**面的な高台避難対策**の検討

公園・施設整備

- ▶**高台**のある**防災公園**の整備
- ▶**緊急時**のための**ヘリポート**整備

ルールづくりと情報発信など

- ▶**洪水緊急避難建物**の**周知**と**柔軟なルールづくり**
- ▶**建替**に伴う**住宅のかさ上げ**
- ▶**水害情報**の**収集方法**と**周知方法**の見える化 など

